



2020年度退職者アルバム紹介

長い間清掃事業に貢献していただきありがとうございますございました

新型コロナウイルス感染防止の観点から、今年度は退職者懇親会を中止することとした。その代わりとして、各分会協力のもと、清親会・清掃支部にて作成したアルバムを退職者に向けて送付した。作成したアルバムの写真を一部抜粋し、せいそう労働者で二回に分けて、各分会の写真を紹介する。

(教宣部)

本庁

川崎生活環境事業所



川崎市職員労働組合
清掃支部
発行
川崎市川崎区東田町 5-1
市労連会館 4 階
電話 044 (222) 5906
発行責任者 洪谷 勝美
編集責任者 清水 麻之



清掃支部ホームページ
QRコード



入江崎クリーンセンター

王禅寺処理センター

分会だより 堤根分会

No.204

堤根分会です。堤根処理センターは、一日当たり600トン（2炉運転時）のごみを焼却することのできる施設として、昭和54年に竣工しました。竣工から令和3年の現在まで、2回の大規模な施設整備工事や耐震補強工事等により施設の維持がされてきました。しかし、40年を越えて使用されてきた施設は老朽化が著

加瀬クリーンセンター

しく、様々な箇所の不調の兆しが見え始めています。一部を紹介しますと、長い間使用されてきた給排水の配管に詰まりが発生して本来必要とされる流量が確保できないこと、建屋内地下のコンクリートに割れや隆起が発生して建物が歪んでいるのでは？と思ったりすることもあります。このような施設ではあります。施設の休止も目前に迫り、休止に向けた準備を進めていくとともに、計画外の休炉を招かぬよう職員が一丸となって施設を維持・運転管理していきたいと思っておりますので、これからも堤根分会をよろしくお願ひします。

隣にいる仲間を想う

〜在日外国人と日本人は国籍・

民族を超えていけるか〜

第31回

林慶一

震えが止まらない

〜関東大震災の記録

ヨンスは足立さんに、会社で実施する避難訓練の時に関東大震災での朝鮮人の犠牲者が大勢いたことについて話すように言われ、自信がなかったものの断れない雰囲気にもまれ承諾してしまいました。しかし話すといつてもイメージが湧きませんでした。悩んだ末、まず今度の休みの日に図書館に行つて震災のことを調べてみようと思いました。

図書館に行こうと思つていた日は、明け方まで仕事だったので、始発で帰ってきたヨンスは夕方まで寝てしまい、近くの図書館は閉まる寸前でした。あわてながらも見つけたその本は、震災直後におけるいろいろな人の証言が載つたものでした。中には名前を聞いたことのある人や有名な会社

の社長などが当時のことを話していたものが載っていました。

当時十代の少年だったあの著名な映画監督は「近所では、朝鮮人が井戸に毒を入れた、という噂が広がっていた。その井戸は白墨のしるしがついていたという。しかしその白墨のしるしは自分が前にその井戸に落書きをしたものだった」とあり、怒りや呆れを通り越して不謹慎ではありませんがヨンスは思わず笑つてしまいました。このような噂は小さなものでも水面に投げた小石のように波紋が広がり、大きな悲劇となつてしまうのです。噂は主に「朝鮮人が爆弾を仕掛けた」「大勢の朝鮮人や中国人が攻めてくる」といったものでした。もちろんそんな事実はありません。しかし驚いたことに、こうした噂は自然に出てきたものではなく、当時の政府や警察が流言の拡大に積極的だったということが書かれていました。警察署の扉には「朝鮮人が反乱を起こそうとしているから警戒せよ」という張り紙が出ていたといいます。

また「震災を利用し、朝鮮人が各所に放火し不逞の目的を遂行しようとしている。東京市内で爆弾を所持し石油を注ぎ、放火するものあり」というような内容の文を、当時警察を管轄する省庁だった内務省が全国に打電していたため流言飛語が飛び交い、新聞もそれ

をそのまま載せたようである。この章では数々の残酷な朝鮮人への虐殺の描写がある証言がありました。ターゲットは女性や子どもにまで及びます。国や警察がデマを流し、市民がそれを鵜呑みにして武装し、非武装の朝鮮人や中国人に対し虐

殺を実行するという構図があったようです。震災の犠牲者は十万人を超えますが、そのうち虐殺の犠牲者は推定で千人から数千人と推定されています。推定とあるのは当時朝鮮人に関するそうした調査が許可されなかつたということです。ヨンス

はページをめくる手が止まらなくなりました。同時に震えも止まらなくなり、もし自分がその時代にいたらと思うと平常心ではいられなくなるほど心をかき乱されました。

(次号へ続く)

直営をとりとえる

仲間達 (361)

臨港分会

大久保 亮

(おおくぼ りょう)

皆様いつもお世話になつております。臨港分会の大久保です。浮島処理センターに配属されてから4年目を迎えました。今年度操作係から係異動し、技術係に初めて配属されたこともあり、慣れないデスクワークに苦戦した1年間でした。特に薬剤発注の担当

ということ、薬剤の発注管理や受入・支払申請などの事務手続きが非常に多く、その大量デスクワークによる運動不足とストレスのせい、白髪と脂質がどんどん増えた気がしました。白髪は加齢で仕方ない

- ① 年齢 ..
- ② 入庁年度 ..
- ③ 分会役 ..
- ④ 職種 ..
- ⑤ 業務内容 ..
- ⑥ 趣味、最近ハマっていること ..

と受け入れ、運動不足は自粛生活のため仕方ないと受け入れ、変わらぬ生活しています。これからは仕事と家庭の両立を守りつつ、職員及び父親として日々成長しようと思ひます。